

キャリアタス就活
[career+]

2022卒 理系学生の就職活動（専攻分野別）

2021年9月

株式会社ディスコ キャリタスリサーチ

調査概要

<調査概要>

2022年卒の理系学生の就職活動に関する調査データの中から、主なものを抜粋し、4つの専攻分野（機械・電気系／情報系／土建系／化学・農学・薬学系）、あるいは文系学生との比較を通して、特徴を分析した。

- 調査対象 : 2022年3月に卒業予定の理系大学生・大学院生（修士課程）
 サンプルング : キャリタス就活2022 学生モニター
 調査方法 : インターネット調査法

	第3回調査	第5回調査	第7回調査	第8回調査	第9回調査	インターンシップ 特別調査	就職情報収集に 関する特別調査
調査時期	2021年1月	2021年3月	2021年5月	2021年6月	2021年7月	2021年3月	2021年6月
回答者数	1,164人	1,305人	1,273人	1,217人	1,200人	802人	1,004人
理系全体	451人	477人	481人	470人	467人	307人	419人
機械・電気系	112人	109人	113人	111人	112人	62人	102人
情報系	67人	77人	68人	70人	70人	57人	61人
土建系	54人	59人	62人	56人	54人	39人	52人
化学・農学・薬学系	115人	114人	119人	119人	121人	74人	102人

※上記以外の専攻系統も「理系全体」に含まれる。そのため、4専攻系統の人数の合計は「理系全体」と一致しない。

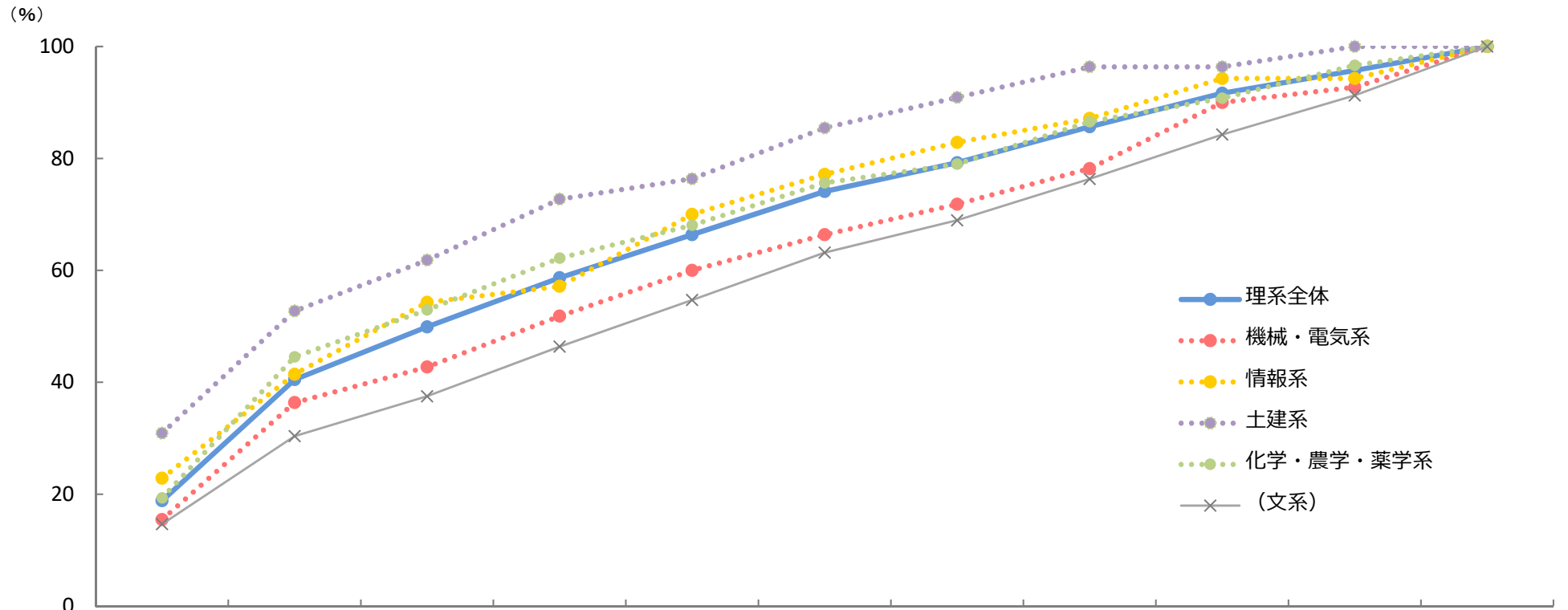
<目次>

- | | | | |
|-------------------------|----|---------------------------|-----|
| 1. 業界研究を始めた時期 | P3 | 8. 就職決定業界 | P10 |
| 2. 業界研究に有益な情報源 | P4 | 9. 就職決定職種、専攻分野との関連 | P11 |
| 3. インターンシップ等*参加状況 | P5 | 10. 就職決定企業への応募ルート、当初志望度 | P12 |
| 4. インターンシップ参加企業からのアプローチ | P6 | 11. 就職決定企業で働きたいと思ったタイミング | P13 |
| 5. 就職活動量（7月時点） | P7 | 12. 就職決定企業のインターンシップ参加状況 | P14 |
| 6. 初回内定時期 | P8 | 13. 就職先企業を選ぶ際に重視する点（1月時点） | P15 |
| 7. 就職決定企業からの内定時期 | P9 | 14. 就職決定企業に決めた理由（7月時点） | P16 |

*1日以内のプログラムも含めて調査

1. 業界研究を始めた時期

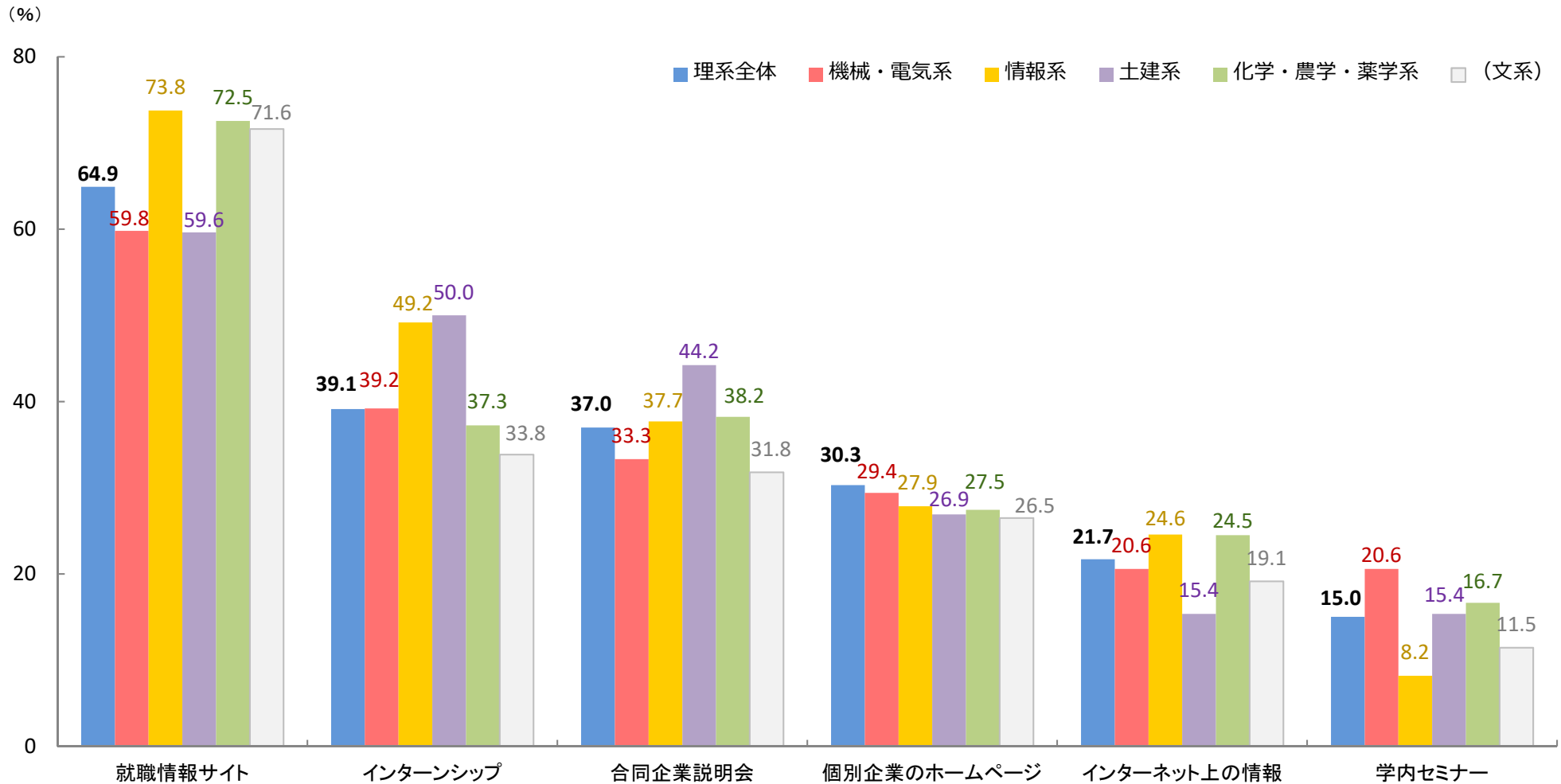
- 理系は文系に比べ業界研究の取り掛かり時期が早く、3年生(修士1年)6月時点で4割を超え(40.5%)、10月には7割に達した(74.1%)。
- 中でも土建系は特に早く、6月には過半数に達するなど(52.7%)、他の専攻分野を終始上回る数字で推移。



	2020年 5月以前	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年 1月	2月	3月以降
理系全体	18.8	40.5	49.9	58.7	66.4	74.1	79.2	85.7	91.6	95.7	100.0
機械・電気系	15.5	36.4	42.7	51.8	60.0	66.4	71.8	78.2	90.0	92.7	100.0
情報系	22.9	41.4	54.3	57.1	70.0	77.1	82.9	87.1	94.3	94.3	100.0
土建系	30.9	52.7	61.8	72.7	76.4	85.5	90.9	96.4	96.4	100.0	100.0
化学・農学・薬学系	19.3	44.5	52.9	62.2	68.1	75.6	79.0	86.6	90.8	96.6	100.0
(文系)	14.7	30.4	37.5	46.4	54.7	63.2	69.0	76.3	84.3	91.3	100.0

2. 業界研究に有益な情報源

- 理系全体の1位は「就職情報サイト」(64.9%)で、特に情報系、化学・農学・薬学系で高く、7割を超える(73.8%、72.5%)。
- 2位は「インターンシップ」(39.1%)。土建系、情報系では約半数に上る(50.0%、49.2%)。
- 3位は僅差で「合同企業説明会」(37.0%)が続き、文系に比べ業界研究に活用する割合が高い。土建系では4割を超える(44.2%)。



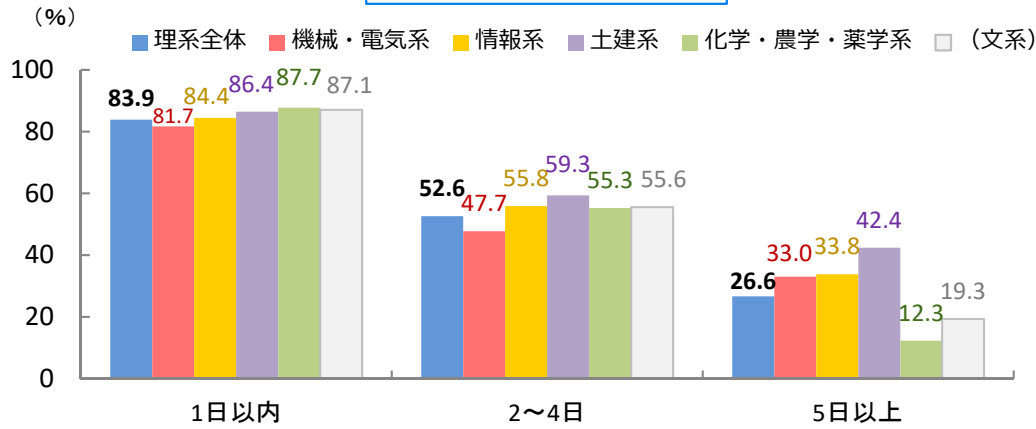
※オンライン形式を含む

3. インターンシップ等参加状況

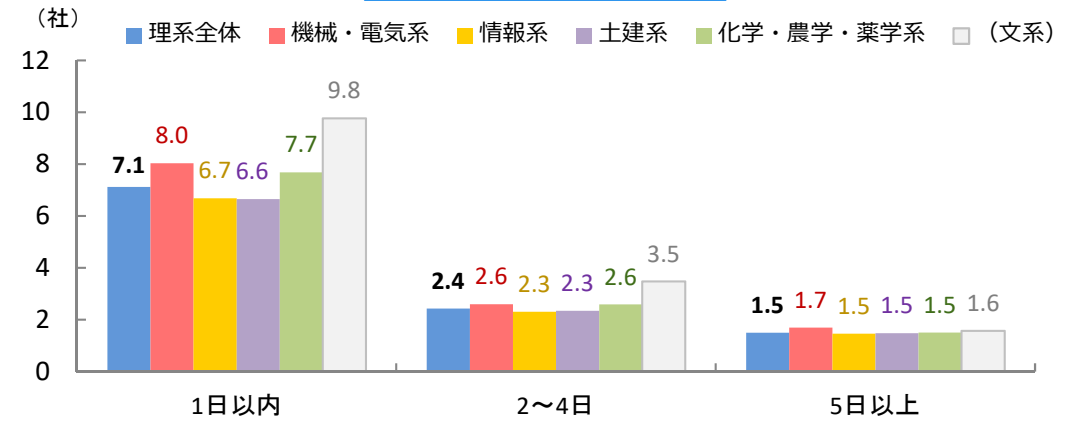
* 1日以内のプログラムも含めて調査（以下同）

- 1日以内のプログラムは、いずれの属性も8割以上が参加経験を持つ。土建系は5日以上への参加率が他の専攻より高い(42.4%)。
- 参加時期の分布を見ると、8月・9月の夏場が多いが、12月以降も1割を超えており、冬場も積極的に参加していたことがわかる。

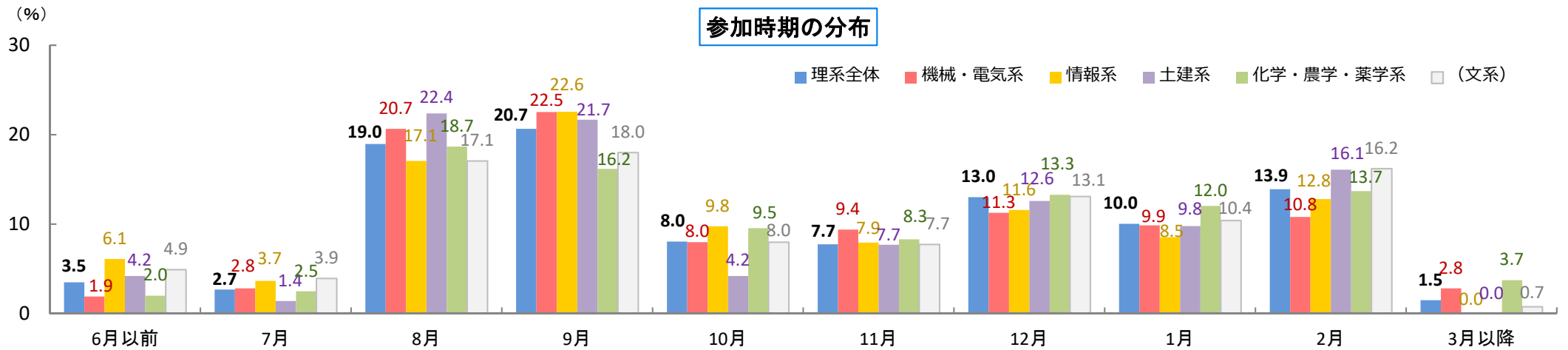
インターンシップ参加経験



インターンシップ参加社数

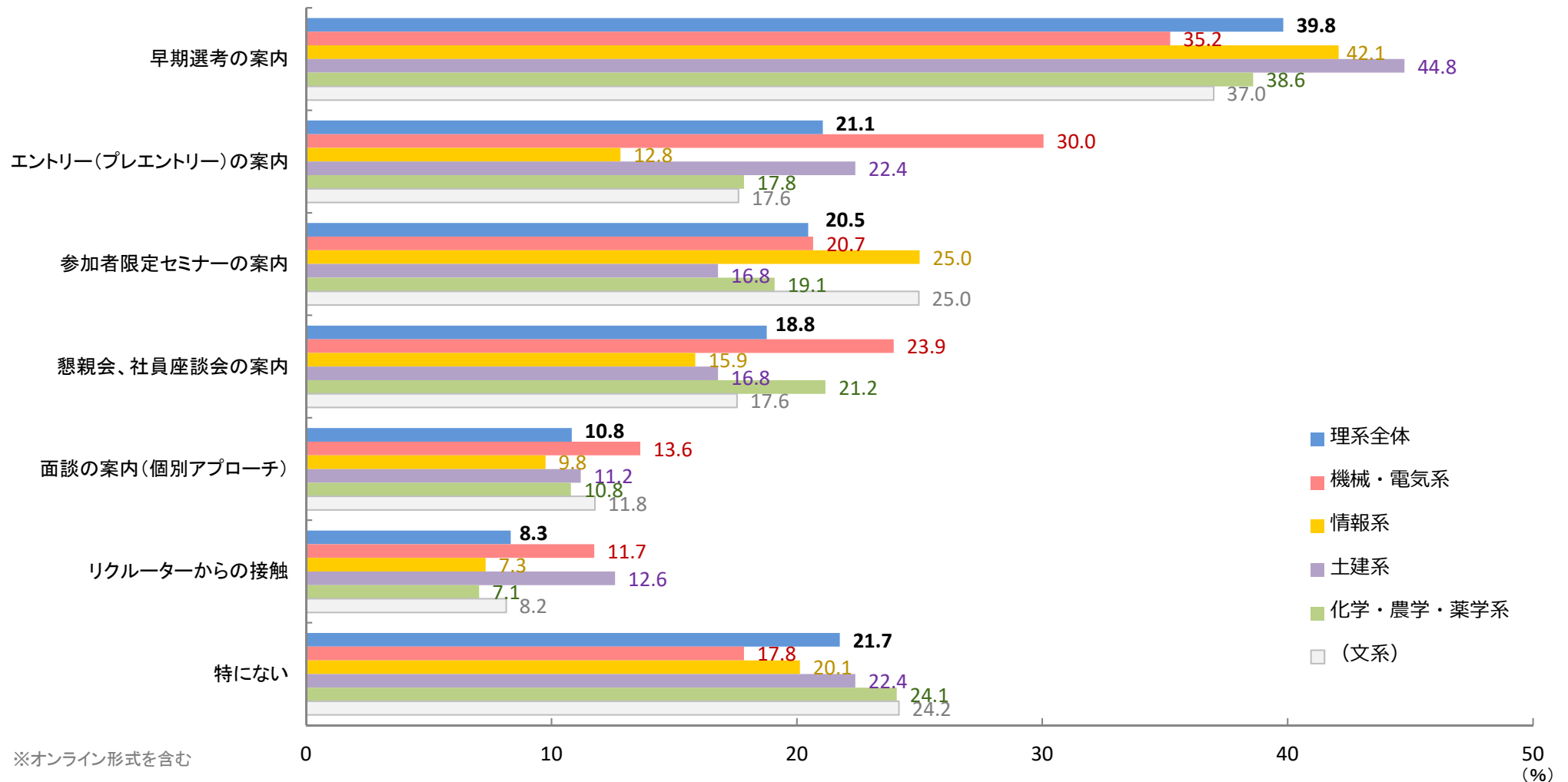


参加時期の分布



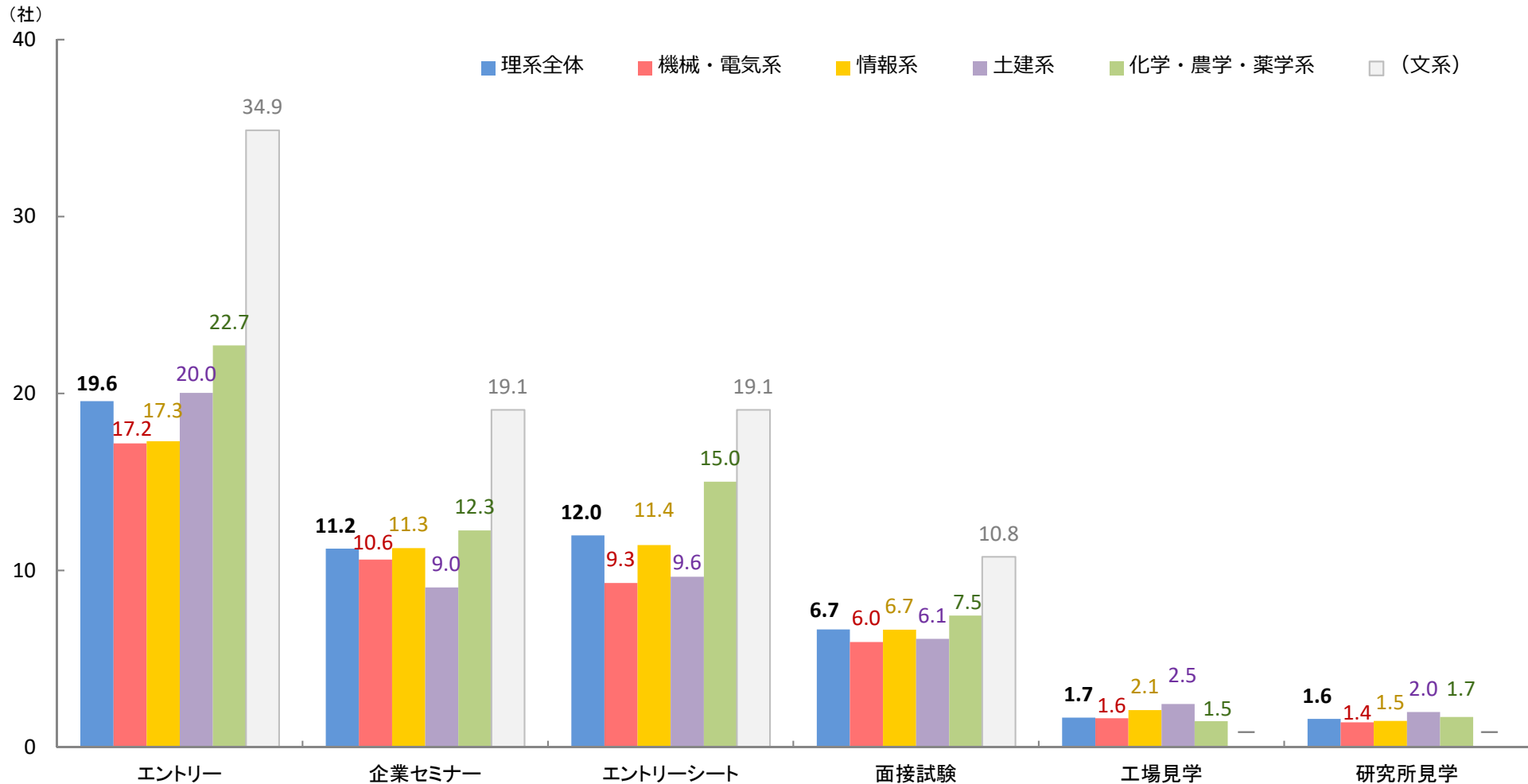
4. インターンシップ参加企業からのアプローチ

- 「早期選考の案内」が約4割で最多(39.8%)。土建系、情報系のポイントが比較的高い(44.8%、42.1%)。
- 機械・電気系は「エントリーの案内」「懇親会、社員座談会の案内」「面談の案内(個別アプローチ)」が他の専攻学生より高い。
- 文系よりもポイントの高い項目が多く、理系学生の多くが参加後に様々なアプローチを受けた様子が見て取れる。



5. 就職活動量(社数/7月時点)

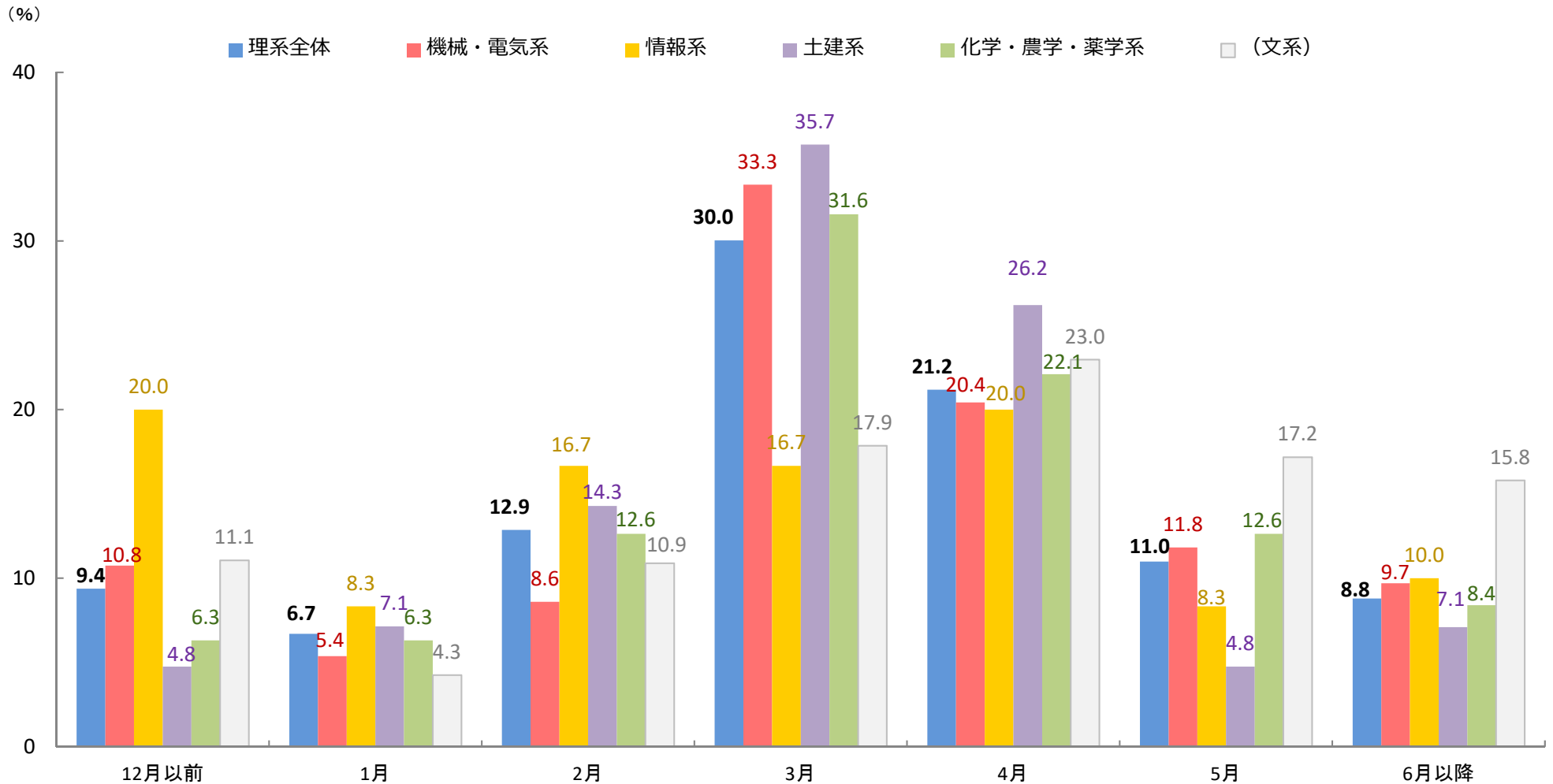
- 理系学生の活動量(社数)は、すべてのフェーズにおいて文系を下回り、企業を絞って活動する傾向が強い。
- 理系の中でも、機械・電気系学生は活動量が少なく、化学・農学・薬学系は比較的多いという特徴が見られる。
- 化学・農学・薬学系はエントリーシート提出社数が多いが(15.0社)、面接社数については他の専攻学生と大きな差は見られない。



※それぞれ参加者(受験者)を分母に、平均社数を算出 ※オンライン形式を含む

6. 初回内定時期

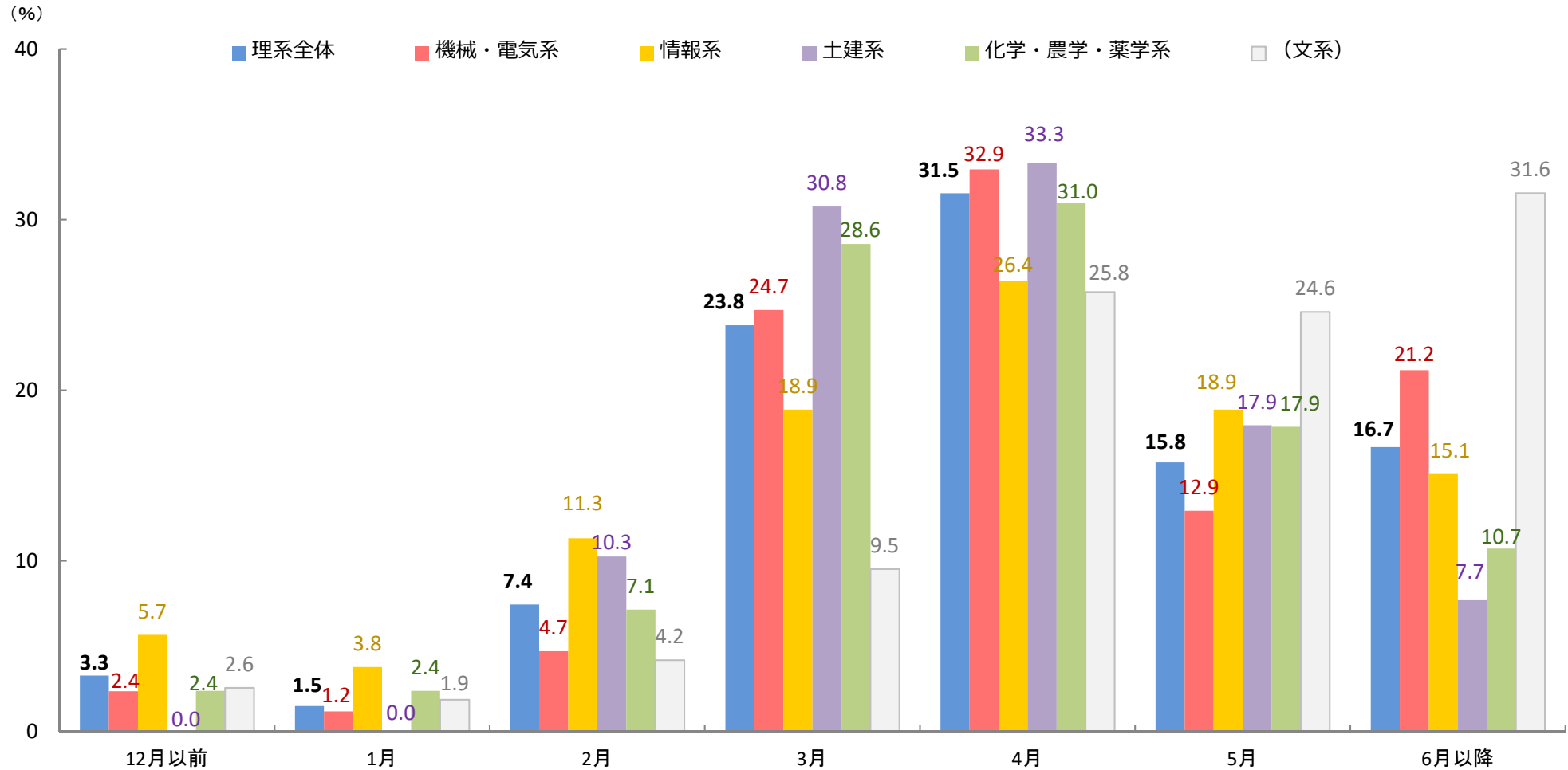
- 7月時点で内定を得ている学生に、初めて内定を得た時期を尋ねた。
- 理系は文系に比べ内定獲得のペースが速く、理系全体では3月に初めて内定を得た学生が多い(30.0%)。文系は4月が最多(23.0%)。
- 情報系学生は、12月以前が2割(20.0%)など早期内定が目立つが、6月以降も理系の中では最も多く、全体的に分散している。



※内定取得者が回答

7. 就職決定企業からの内定時期

- 就職先が決まっている学生に、就職決定企業から内定を得た時期を尋ねた。
- 理系はいずれの専攻分野も4月が最も多い。初回内定時期と同様に、文系に比べて総じて早い。文系は6月以降が最多(31.6%)。
- 土建系、化学・農学・薬学系は、3月・4月に集中。機械・電気系も最多は4月だが、6月以降が2割を超え(21.2%)、他の専攻学生より多い。



※就職先決定者が回答

8. 就職決定業界

- 機械・電気系学生の決定業界は、1位「電子・電機」(18.8%)、2位「機械・プラントエンジニアリング」(16.5%)。
- 土建系学生は「建設・住宅・不動産」(61.5%)に、情報系学生は「情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト」(45.3%)に集中。
- 「情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト」は情報系のみならず、いずれの専攻分野でも上位に位置。理系学生の多くが就職先として選んでいる様子がわかる。

(%)

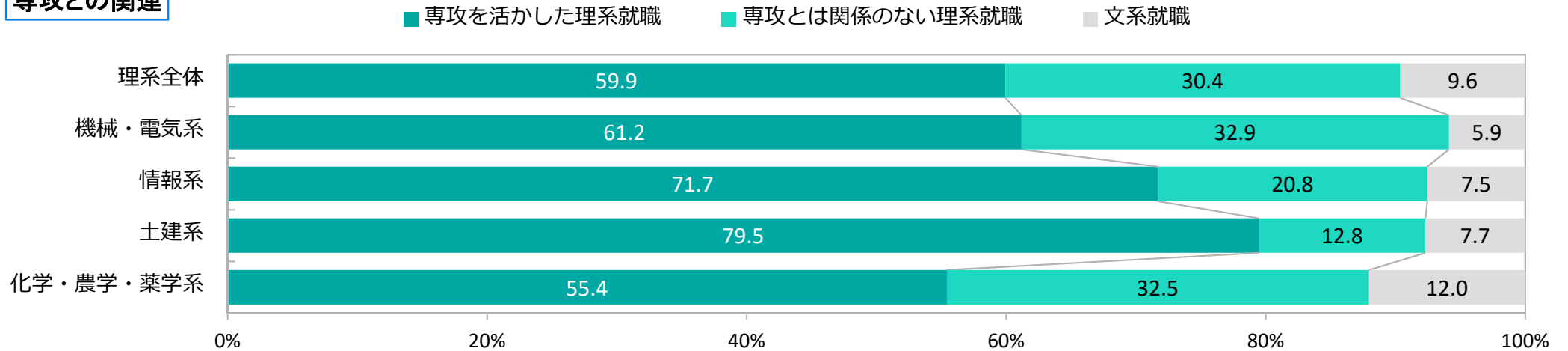
	理 系					(文 系)						
	機械・電気系		情報系		土建系		化学・農学・薬学系					
1	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	13.4	電子・電機	18.8	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	45.3	建設・住宅・不動産	61.5	医薬品・医療関連・化粧品	21.4	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	11.8
2	電子・電機	11.9	機械・プラントエンジニアリング	16.5	電子・電機	7.5	官公庁・団体	7.7	素材・化学	16.7	銀行	9.5
3	建設・住宅・不動産	11.6	自動車・輸送用機器	12.9	通信関連	7.5	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	5.1	電子・電機	10.7	商社（専門）	6.0
4	素材・化学	6.8	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	8.2	建設・住宅・不動産	5.7	機械・プラントエンジニアリング	5.1	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト	6.0	運輸・倉庫	5.1
	機械・プラントエンジニアリング	6.8	エネルギー	5.9	情報・インターネットサービス	5.7	エネルギー	5.1	建設・住宅・不動産	6.0	保険	4.4
6	医薬品・医療関連・化粧品	5.4	運輸・倉庫	5.9	調査・コンサルタント	3.8	運輸・倉庫	5.1	水産・食品	6.0	建設・住宅・不動産	4.2
7	自動車・輸送用機器	5.1	調査・コンサルタント	4.7	精密機器・医療用機器	3.8	OA機器・家具・スポーツ・玩具他	5.1	通信関連	4.8	その他サービス	4.2
8	エネルギー	4.8	通信関連	4.7	銀行	3.8	銀行	2.6	ゴム・ガラス・セメント・セラミックス	3.6	マスコミ	4.2
					マスコミ	3.8	その他サービス	2.6				

※「その他サービス」=セキュリティサービス、介護・福祉サービス、冠婚葬祭などのサービス業

9. 就職決定職種、専攻分野との関連

- 理系全体の約6割(59.9%)が、専攻を活かした理系就職だと回答。土建系は約8割、情報系は約7割に上る(79.5%、71.7%)。
- 実際、決定職種を見ると、土建系学生は「建築・土木設計系」、情報系学生は「IT系」が7割を超え、専攻分野に集中している。
- 「IT系」職種はいずれの専攻分野も3位以内に入り、前ページで確認した就職決定業界の指標とも一致する。

専攻との関連



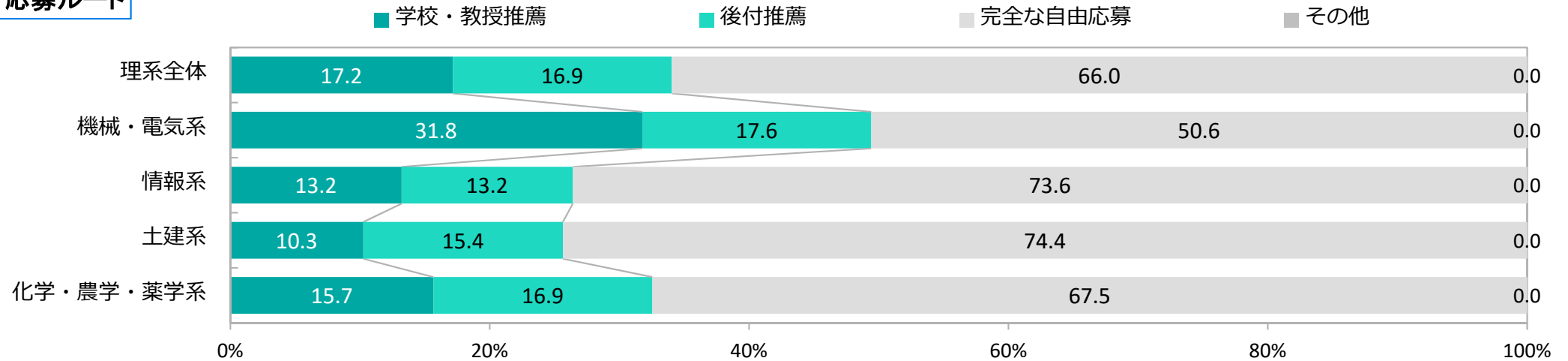
就職決定職種

順位	理系					(文系)	
	研究・開発・設計系	機械・電気系	情報系	土建系	化学・農学・薬学系		
1	34.0	研究・開発・設計系 42.7	IT系 73.1	建築・土木設計系 74.3	研究・開発・設計系 55.0	営業系	37.8
2	IT系 25.6	IT系 18.7	研究・開発・設計系 7.7	研究・開発・設計系 14.3	IT系 11.3	事務・管理系	20.0
3	建築・土木設計系 11.9	生産・製造・品質管理系 18.7	金融系 5.8	IT系 5.7	生産・製造・品質管理系 7.5	IT系	16.5
					専門・スペシャリスト系 7.5		

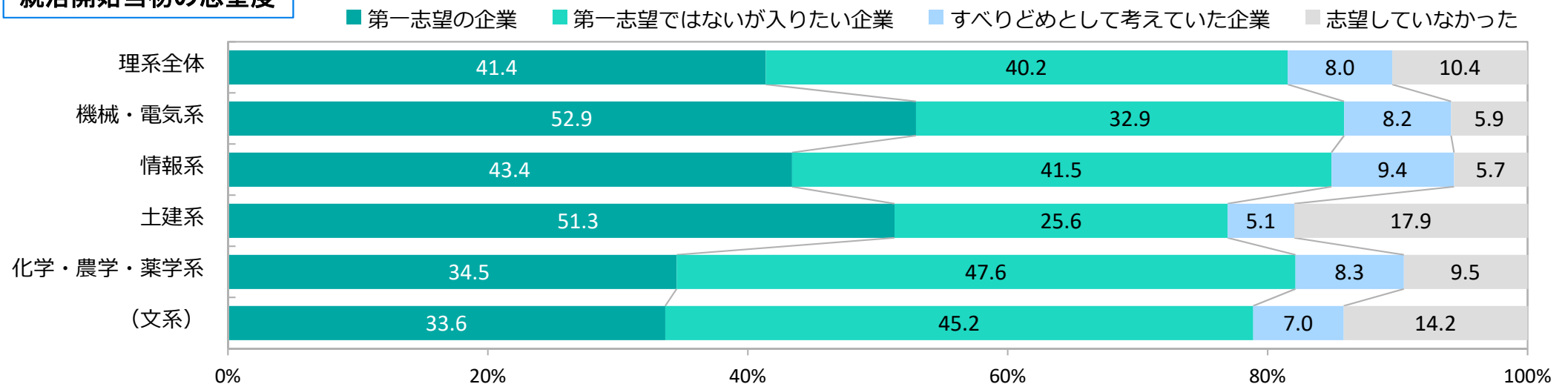
10. 就職決定企業への応募ルート、当初志望度

- 機械・電気系は「学校・教授推薦」での就職決定者が比較的多く、3割を超える(31.8%)。第一志望企業に決定した割合も高い(52.9%)。
- 土建系は「自由応募」が多いが(74.4%)、第一志望への決定割合も比較的高い(51.3%)。専攻により活動スタイルに違いが見られる。

応募ルート

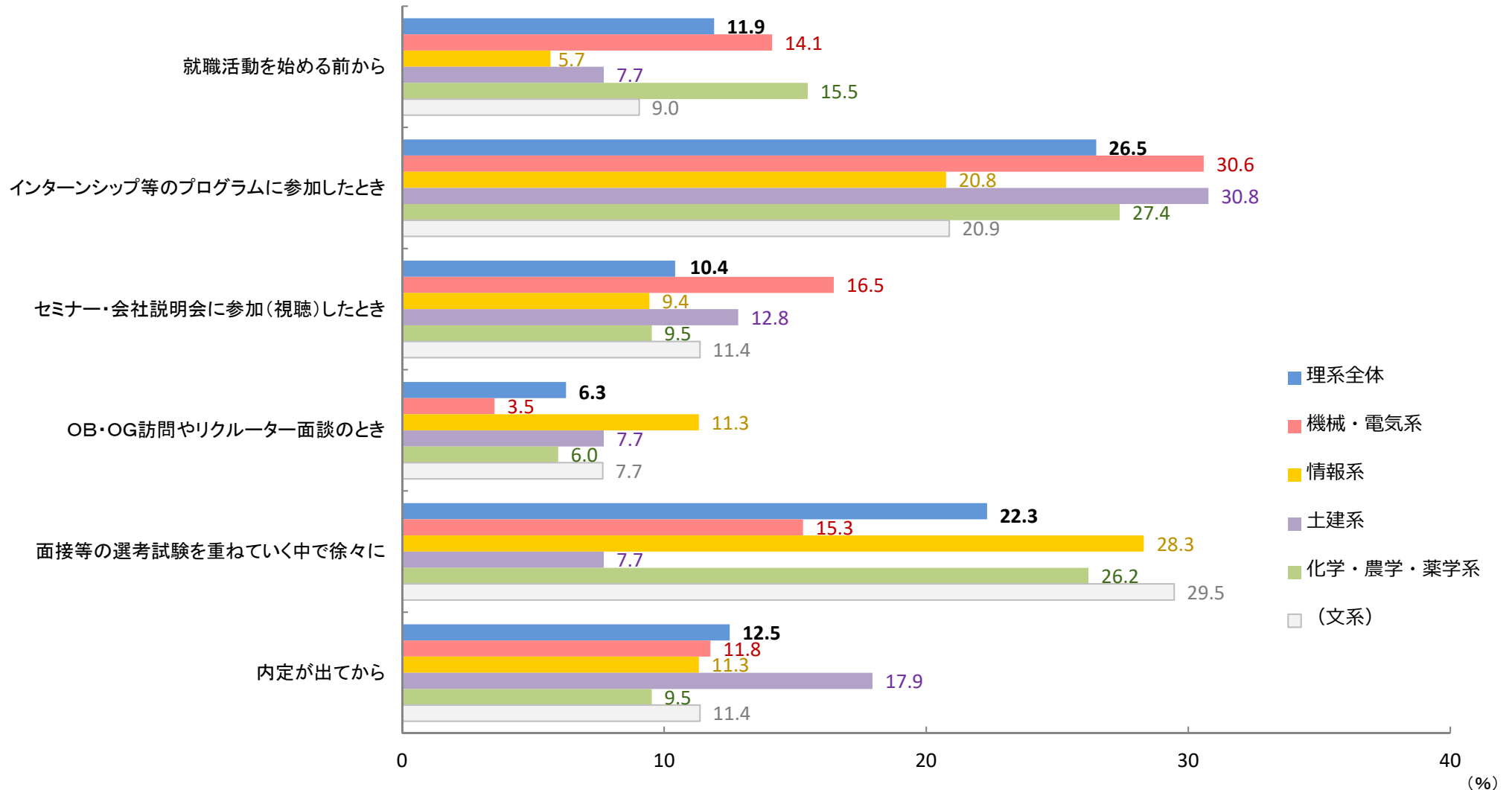


就活開始当初の志望度



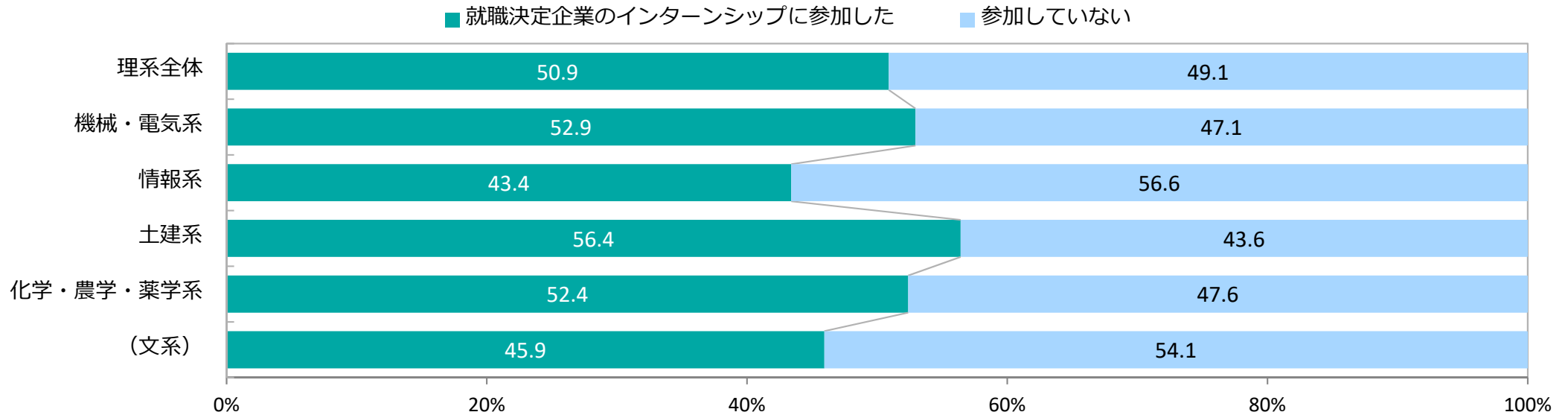
11. 就職決定企業で働きたいと思ったタイミング

- 「インターンシップ等のプログラムに参加したとき」が最多(26.5%)。特に、土建系、機械・電気系で3割を超え高い(30.8%、30.6%)。
- 情報系学生は、「選考を重ねていく中で徐々に」が高く、「インターンシップ」が低いなど、文系学生に近い傾向を示している。



12. 就職決定企業のインターンシップ参加状況

- 理系学生の半数が、就職決定企業のインターンシップに参加していた(50.9%)。土建系で高く(56.4%)、情報系は低め(43.4%)。
- 機械・電気系は、複数日程のプログラムに参加していた割合が他よりも高い。「2~4日」35.6%、「5日以上」26.7%。



就職決定企業のインターンシップ参加日数 (複数回答)

	理系					(文系)
	理系	機械・電気系	情報系	土建系	化学・農学・薬学系	
1日以内のプログラムに参加	63.2	51.1	65.2	54.5	75.0	63.1
2~4日程度のプログラムに参加	28.7	35.6	26.1	27.3	25.0	32.8
5日以上プログラムに参加	14.0	26.7	17.4	18.2	2.3	6.6
就職決定企業のインターンシップに参加していない	49.1	47.1	56.6	43.6	47.6	54.1

13. 就職先企業を選ぶ際に重視する点(1月時点)

- 就活序盤は、いずれの属性も「将来性がある」が最多。文理や専攻分野によらず、企業選びの重要な視点だったことがわかる。
- 2位は、ほとんどの属性で「給与・待遇が良い」。化学・農学・薬学系は「福利厚生が充実している」が2位(37.4%)。
- 情報系は「仕事内容が魅力的」が3位で、他の専攻より約10ポイント高いのが目立つ(34.3%)。「教育・研修制度」も7位と上位。

※5つまで選択 (%)

	理系		機械・電気系		情報系		土建系		化学・農学・薬学系		(文系)	
	属性	割合	属性	割合	属性	割合	属性	割合	属性	割合	属性	割合
1	将来性がある	50.6	将来性がある	45.5	将来性がある	49.3	将来性がある	63.0	将来性がある	52.2	将来性がある	49.1
2	給与・待遇が良い	38.6	給与・待遇が良い	43.8	給与・待遇が良い	35.8	給与・待遇が良い	38.9	福利厚生が充実している	37.4	給与・待遇が良い	42.8
3	福利厚生が充実している	30.4	福利厚生が充実している	33.0	仕事内容が魅力的	34.3	業績・財務状況が良い	38.9	社会貢献度が高い	33.9	福利厚生が充実している	32.3
4	社会貢献度が高い	27.9	職場の雰囲気が良い	26.8	業績・財務状況が良い	31.3	社会貢献度が高い	35.2	給与・待遇が良い	33.0	職場の雰囲気が良い	29.9
5	業績・財務状況が良い	26.8	業績・財務状況が良い	25.9	福利厚生が充実している	29.9	職場の雰囲気が良い	24.1	職場の雰囲気が良い	27.8	社会貢献度が高い	28.8
6	職場の雰囲気が良い	25.9	有名企業である	25.0	職場の雰囲気が良い	25.4	大企業である	24.1	大企業である	25.2	業績・財務状況が良い	25.9
7	仕事内容が魅力的	24.4	社会貢献度が高い	24.1	教育・研修制度が充実している	23.9	仕事内容が魅力的	24.1	業界順位が高い	22.6	休日・休暇が多い	25.5
8	大企業である	21.7	大企業である	24.1	社会貢献度が高い	20.9	業界順位が高い	20.4	業績・財務状況が良い	21.7	有名企業である	19.9
9	業界順位が高い	20.6	仕事内容が魅力的	23.2	大企業である	20.9	休日・休暇が多い	20.4	仕事内容が魅力的	21.7	大企業である	19.6
10	有名企業である	19.3	業界順位が高い	20.5	休日・休暇が多い	20.9	福利厚生が充実している	18.5	有名企業である	20.0	教育・研修制度が充実している	17.8
							有名企業である	18.5				
							教育・研修制度が充実している	18.5				

14. 就職決定企業に決めた理由(7月時点)

- 就活序盤で1位だった「将来性がある」は2位に、2位だった「給与・待遇が良い」は5位へと下がり、「社会貢献度が高い」が最多に(32.1%)。就活を通して企業選びの視点が変化したことが読み取れる。
- 情報系は「給与・待遇が良い」「福利厚生が充実している」「休日・休暇が多い」の順位が他より高く、条件重視の姿勢がうかがえる。

※5つまで選択 (%)

	理 系		機械・電気系		情報系		土建系		化学・農学・薬学系		(文 系)	
	1	社会貢献度が高い	32.1	社会貢献度が高い	34.1	給与・待遇が良い	34.0	社会貢献度が高い	35.9	将来性がある	41.7	社会貢献度が高い
2	将来性がある	30.4	将来性がある	28.2	福利厚生が充実している	32.1	大企業である	30.8	社会貢献度が高い	34.5	給与・待遇が良い	28.3
3	有名企業である	27.7	給与・待遇が良い	28.2	有名企業である	28.3	将来性がある	28.2	大企業である	29.8	職場の雰囲気が良い	25.8
4	大企業である	27.1	希望の勤務地で働ける	27.1	社会貢献度が高い	24.5	有名企業である	28.2	有名企業である	27.4	有名企業である	25.1
5	給与・待遇が良い	26.2	有名企業である	25.9	希望の勤務地で働ける	24.5	仕事内容が魅力的	28.2	仕事内容が魅力的	26.2	福利厚生が充実している	24.6
6	仕事内容が魅力的	23.5	大企業である	25.9	大企業である	22.6	業界順位が高い	28.2	給与・待遇が良い	22.6	将来性がある	24.4
7	福利厚生が充実している	23.2	世の中に影響力が大きい	23.5	休日・休暇が多い	22.6	希望の勤務地で働ける	25.6	業界順位が高い	22.6	希望の勤務地で働ける	21.8
8	希望の勤務地で働ける	21.4	業界順位が高い	22.4	将来性がある	20.8	希望の職種に就ける	23.1	福利厚生が充実している	21.4	仕事内容が魅力的	20.9
9	業界順位が高い	20.8	職場の雰囲気が良い	20.0	仕事内容が魅力的	20.8	専攻・資格が活かせる	17.9	希望の職種に就ける	19.0	業界順位が高い	19.7
10	世の中に影響力が大きい	16.7	福利厚生が充実している	18.8	職場の雰囲気が良い	17.0	給与・待遇が良い	15.4	希望の勤務地で働ける	17.9	大企業である	18.8
	職場の雰囲気が良い	16.7			業績・財務状況が良い	17.0	製品・サービスの質が高い	15.4	業績・財務状況が良い	17.9	休日・休暇が多い	18.8
					教育・研修制度が充実している	17.0						
					高いスキルが身に付く	17.0						